

小中学校のあり方意見交換会 意見・アンケート結果  
(地域住民向け・竹野会場)

- 開催日 2020年10月29日(木) 19:00~20:30
- 会場 市役所竹野庁舎 大会議室
- 出席者 地域住民等参加者 35名  
教育委員会事務局 8名
- 意見交換(要旨)

意見・質問	回答
<p>《学校再編》</p> <p>中竹野小学校の統合を切望し、令和4年度から統合を教育委員会で決定していただいたので、その経過をお話したい。</p> <p>考え方としては、何よりも保護者の意見を重視した。中竹野小学校の実態は、年々児童数が激減して、特に竹野認定こども園ができる前後のあたりが激減している。昨年度は新入生がおらず、入学式ができなかった。今年度は新入生が5名入ってきたが、全児童数が23名、令和4年度には19人になる。これは統計上の数だが、実際はもっと減るかもしれない。中竹野にいながら竹野小学校に通わせるという家族があるかもしれない。そういう厳しい現実がある。</p> <p>子どもたちにとって何が一番いいのかということ、昨年度から保護者の方と地域の方と何度か話合いをもってきた。昨年度の9月「中竹野地区に子どもを持つ保護者の会」というものを開催し、参加者29名、全員が発言された。その後、10月に中竹野地区コミュニティと区長会との共催で、地域全体にその会合の話合いを広げて、参加者は21名だったが、その時はほぼ全員の方が、地域の方も含めて、統合して欲しいという意見が多かった。それで、令和2年に入っ</p>	<p>これまでの取組を発表いただきありがとうございます。何回かこちらにも相談いただき、いろいろと苦勞をされているということも聞いていたので、こういうところで発表できるまで進められて、良かったと思う。これから具体的な協議を進めていくこととなる。本日は、竹野地区の方もたくさん来られているが、ぜひ皆さん、一緒になって協議をしていければと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>

て2月に保護者アンケートをとったら、統合して欲しいという方が81%、現在のままが6%、分からないが13%。統合して欲しい時期は、できるだけ早くが58%、近い将来が42%。ただ、保護者の中にはそんなに急がなくても、新しい小学校ができてからで良いのではないとか、教育委員会の答申が下りてからでもいいのではないかなど、いろいろな意見があり、なかなか一つにまとまらなかったのが現状である。そんな中、3月に、区長協議会とPTAとの共催で、中竹野小学校の統合を考える会というものを開き、27名が参加されたが、この時も保護者の方の意見がまだいろいろとあって、決着がつかなかった。その後、7月に、竹野認定こども園、中竹野地区の在宅未就学児を持っておられる保護者から、区長協議会宛に要望書が届いた。それは、何とか1年でも早く統合して欲しいという要望書である。竹野認定こども園でせつかく竹野小学校区の子どもと友達になったのに、小学校で分かれなければならないということや、特に就学前の保護者から一刻も早く統合して欲しいという内容である。これを受けて、同月、中竹野小学校の保護者が会合を持たれて、やはり未就学児の親がそのような意見を持っているのであれば、その意見を尊重しようということで、中竹野小学校の保護者の方も令和4年度の統合ということで決定された。そういったことで、区長協議会としては、保護者とともに市に要望書を出そうということで、市長と教育長宛に9月に要望書を出すことを決めた。その後、竹野小学校のPTA、校長先生・教頭先生、区長協議会長など竹野小学校区の皆さんに中竹野小学校

<p>の願いをお届けし、何とか一緒に統合の受入れをご理解いただけないかと申し上げ、快く了解していただいたという経過である。</p> <p><b>《再編の枠組》</b></p> <p>人数が少ないから仕方なしの統合ではなく、夢のある統合、今後統合することによって今まで以上にいい教育ができるような、施設一体型の小中一貫教育については、私個人としては賛成である。今後、今日の話合い、それから保護者の方の意見を基に、今説明があったような形になっていければとてもありがたいと思う。</p>	
<p><b>《学校再編》</b></p> <p>学校統合が最も早い場合に 2023 年 4 月だが、それとは別に 2022 年 4 月に中竹野小学校と竹野小学校は統合とある。区長会のご尽力、保護者のご尽力で統合に一生懸命になられている方に心より敬意を表したいと思う。</p> <p>コミュニティの立場で、時々耳に入ってくるのが、一般の住民の方が、「統合なんてするの?」とか、「2022 年? 2024 年?」「全然そんなの私たち知らない」そういう声も聞くので、該当者以外の一般住民にもきちんと説明が必要かと思う。それと、ここにあるように、2022 年なのか、2023 年なのか、どちらか分からないようなことなので、今後のスケジュールを一般住民にもきちんと示して欲しい。</p>	<p>市としては、中竹野地区からの要望書を受けて、全戸配布という形で、区民の皆様へ広報と同時にお知らせの文書を配布しているので、周知はさせていただいていると思っている。</p> <p>今日の資料の、今後のスケジュールについての部分だが、審議会で答申を受けて、計画を作ってというスケジュールだと、最短で 2023 年 4 月となる。これはあくまでも計画ができた後に地域に入って説明し、同意を得られた場合、最短での見込みである。先ほど紹介した港東小・港西小や、奈佐小、中竹野小については、一刻も早く統合をと、地域から要望書が出されたため、このスケジュールとは別に進めさせていただくものである。</p> <p>統合については、少しでも地域の皆さんに納得していただきながら進めたいと思う。これから、コミュニティも含めてたくさん協議をいただくことがあると思う。これまで実施していた地区行事</p>

	<p>をどうするのかなど、ご検討いただかないといけないものもあるので、皆さんが知らなかったと言われたいよう、統合していく経過を地域の皆さんにお知らせしながら進めていきたいと思うのでご理解をお願いしたい。</p>
<p><b>《適正規模・適正配置》</b></p> <p>適正規模・適正配置の考え方については、全面的に教育委員会の考え方に賛同する。子どもたちはある程度の集団の人数の中で生活していくべきではないかと思うし、本当に少ない人数だと男女の偏りが出てくることもあり、そういう場合に教育的にどうなのかと困ってしまう。それから、あの子はどうだ、誰々ちゃんには勝てないとか、そういう固定化についても危惧するところがある。</p> <p>教育委員会の考え方だが、小学校と中学校を同じ場所にさせていただいた方が、小さい学校の場合はいいのではないかと思う。それは、今現在、部活動でも人数が足りなくて困っているような状態なので、小学校の高学年になったら、中学校の部活動にも、見学や、1週間に1・2回でも参加できるようにできるのではないか、そのような考え方もあると思っている。</p> <p>再編の枠組みについては、ここに示されたロードマップで進めていただいたらいいと思うが、できたら、竹野に限って言うと、中竹野小と、竹野南小も同時に、なるべく早く、1つの学校にしたい方がいいのではないかと思う。竹野南小学校の保護者の考え方もあるが、中学生がすでに竹野中学校に通っているという現実を考えると、そのところは無視できない状況だと思う。</p>	<p>先ほどあった、同性が少ないというお話については、他の地域でも、男の子が1人に対して女の子が多くて行きづらいという意見もいただいたので、確かにそのようなデメリットもあると思う。</p> <p>部活動の部分についても、他の自治体の施設一体型小中一貫校では、試合などの制限はあるが、小中で一緒に練習しているという例もあるので、竹野地域ではどんなことができるかということも含めて、竹野色を出した小中一貫校を、「竹野ってこんな取組をされていていいな」と言われるような夢のある学校にしていけるように、皆さんと一緒に考えて行ければと思う。</p> <p>竹野南小のことについては、竹野南の方でご検討いただいているということなので、適切に情報提供しながら、疎外感のないようにして、これからの経過を見守りたいと考えている。</p>

<p><b>《学校再編》</b></p> <p>竹野中学校の敷地内に小学校という案があるが、小学校を新築する考えがあるのか、今ある中学校の改装となるのか。この計画表を見ていると、2023年4月と3年後であるが、そんなところに新築する期間があるのか。分かる範囲で教えて欲しい。</p>	<p>こちらで示しているのは市全体のスケジュールであり、最も再編が早いところがということである。竹野では仮に小中一貫校がいいとなれば、竹野中学校の敷地内に、今ある竹野中の空き教室も使いながら、基本的には、校舎は小学校分を新築・増築しないといけないと思う。そうなると、設計と施設整備で数年かかるため、最短として示しているスケジュールには間に合わないこととなる。今後、こういった話を何度もさせていただき、同意が得られ次第、具体的な計画に移らせていただけたらと思う。現時点では、具体的なことはまだ決めていない。まずは皆さんからご意見をいただいてからと考えているので、ご了承いただきたい。</p>
<p><b>《適正配置》</b></p> <p>通学時間1時間というのは、どこから出てきたのか。毎日2時間、小学校の子が、きつくはないか。毎日、1週間、週5日、これは考えて欲しい。かといって、この人数が少ないのはどうにもならないというなら、少し出てきたICTを、竹野南小学校は残して、ICTを活用して、週に何回かは統合した学校に行くみたいな、これは一つの案だが、もっともっと子どもたちのことを考えて欲しい。適正規模というのが書いてあるが、どこがどうもって適正なのか、子どもの動きや子どもの考え、子どもの行動範囲を、もう少ししっかり、学校の先生も一緒に考えて欲しいと思う。</p> <p>もう一つ、竹野南地区の奥の方に住んでいると、こういう話を聞くと、もう本当に先は暗いと、気持ちがだんだん沈んできた。そのあたりのことも、明るくす</p>	<p>通学に1時間は確かに負担が大きいと思う。1時間については、バスの平均時速20km程度で1時間ということで、本当にギリギリの範囲だと思う。これを何とか軽減するために、乗車場所や、待ち合わせの時間等、極力負担が少なくなるように工夫する必要があると思う。今言われたことも審議会でも検討させていただき、また、地域の方で明るくなるような、夢のあるような部分についても、地域の皆さんと一緒に考えていければと思う。</p>

<p>ることも同時に考えて欲しいと思った。</p>	
<p><b>《学校再編》</b></p> <p>施設一体型小中一貫校のことで質問する。先ほどから決定事項ではないと言われ、検討という格好で、多少時間がかかるだろうと思っている。保護者からは、小中一貫教育に非常に期待しているというような声もあるし、他方では、学校が近くになくなって寂しくなるなどという声、避難場所はいったいどうなるんだろう、今なら竹野小学校に避難できるがどうなるんだろう、そのような声も聞いている。できる限り子どもに寄り添いながら決めていただいたら結構だが、そのあたりの説明があるのかどうか、お聞きしたい。</p>	<p>避難場所も含め、今、竹野小学校にある機能や役割は、たくさんあると思う。今、統合の要望が出ているところについても、避難場所などの機能は極力残して欲しいというご意見もいただいている。ただ、例えば、これが解決しないと統合しないという話になってしまうと、子どもたちがどんどん成長してしまっていて、より良い教育環境、多様な考えに触れることなく卒業してしまうこととなる。審議会でも地域の皆さんからも、スピード感をもって進めて欲しいという意見をいただいている。そのため、施設の今後のあり方については、別の機会で検討させていただきたいと考えている。</p> <p>学校には、こんな機能がある、こんな機能を残して欲しいなど、いろいろな意見が出てくるかと思う。その部分については、あらためて協議がお願いできればと思う。</p>
<p><b>《その他》</b></p> <p>小規模校は、たくさんあって、それがみんな統合されていく計画である。小規模のところに住んでいる、過疎地に住んでいる者は仕方がないんだという感じで、学校が無くなったところはどんどん疲弊するような話ではなく、豊岡市として、もっと人口を増やすような、地域を盛り上げるような、夢のあるような感じの話が、小さい学校でもそこで夢のある取組も少しは考えていただきたいと思います。そのことについてはどうか。</p>	<p>人口減少というのが、全国的にも、豊岡市でも進んでいる。その取組としては、地方創生の戦略の取組やジェンダーギャップの解消など、様々な方法で行政も進めているところである。地域でも、人口が減っても地域の活力を維持するような取組を、各地区コミュニティの中で頑張ってもらっているところである。学校については、確かに地域の方に説明会に回ると、学校が無くなると地域が寂れてしまうという不安の声を聞いている。ただ、保護者の方々への説明をさせていただくと、前回、竹野地域で行った教育懇談会では、小小連携の取組で3つ</p>

	<p>の学校で一緒に集まっているいろんな活動をする、本当にたくさんの人数の中でとても楽しくて、帰ってから本当に楽しかったという話を子どもが保護者にされる。だけど、明日また自分の学校だけに戻ってしまって、本当に少なくて寂しい、この取組がずっと続かないかなという意見を保護者にされる。そのような本当に切実な声もたくさん聞かせていただいている。</p> <p>統合があった地域でも、地域の中で活力を維持できるような取組をされているところもある。今回、竹野地域では、施設一体型小中一貫校という提案をさせていただいた。豊岡市の中で審議会からこの提案が出ているのは竹野と但東だけとなっている。数少ない、施設一体型の小中一貫校の中で、この地域だけのオリジナルの教育ができれば、夢のある本当に楽しみな統合になるのではないかと考えている。</p>
<p>《その他》</p> <p>実態を考えたら、中竹野小学校区においては、小さい学校があるが故にますます子どもが減っていく、悪循環というか、逆現象が起きている。小さい学校に通わせたくないから、中竹野小学校から出ていくとか、中竹野地区に帰ってこないとか。小学校が無くなったら地域が廃れるというが、どうも小学校があるが故に地域がますます廃れていっているようなこともあるのではないかという意見もある。どちらが正しいかは分からないが、夢のある竹野地域の教育ができれば、むしろ竹野の子どもたちの人口も増えるのではないかと、楽観的ではあるが、竹野町が一つになって素晴らしい教育環境を作っていけば、言われたような</p>	

寂しい話ではなく、竹野にとって明るい話になっていくのではないかと考えている。	
--	--

## ■アンケートでの意見（要約）

（適正規模・適正配置や再編の枠組みについて）

- 環境としては、やはり人数は多い方がいいと思います。人とのつながりを学ぶことはやはり勉強以上に大切なものと思います。それと、一極集中で1箇所に集めることで、設備にしても維持管理にしても、竹野の場合は統合して1箇所に集めた方がいいのではないかと。
- 竹野小学校の位置は竹野中に併設がいいと思いますが、保護者の意見にもあったように、プール等の件はもう少し検討・意見交換が必要かと思います。
- 竹野中が将来、豊岡で小規模中1番2番になるかと思いますが、そうなると、部活等も弱体化し、子どもの精神的にかわいそうかなと思いました。ひとつの町にひとつの学校というこだわりはどうかと思いました。通学は長くなりますが、考えていただければと。
- 校区を旧市町域にし続けることは今後無理があるのではないかと。
- （施設一体型小中一貫校の）学校施設をどのように整備していくのか、行程をなるべく早く示して欲しい。

（複式学級）

- 複式学級は、想像しかしていませんでしたが、大変だと改めて知りました。集中して学習できないので心配になります。
- 複式学級のビデオを見ましたが、あれでは別の授業の情報が耳に入ってくるので集中できないと思いました。
- 複式学級の授業は、他方の学年の説明が耳に入ってきて集中できないことも大いに考えられるので、複式学級の解消は必要と思う。
- 複式学級では、自分の子があの場にいたら、少し心配になると思いました。他学年を教える先生の声が聞こえ、落ち着きません。統合されることに賛成ですし、子どものために必要だと思います。
- 子どものことを考えるなら複式学級はやめるべきだと思う。

（その他）

- 仮に竹野中敷地へ一貫校ができたとしても、森本あたりに児童クラブは必要ではないかと。
- 竹野小学校は避難所等の役割があるので、それがなくなった場合の代替案が必要では。